



System i

プログラミング

AFP Utilities コマンド

バージョン 6 リリース 1





System i

プログラミング

AFP Utilities コマンド

バージョン 6 リリース 1

ご注意

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、43 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Advanced Function Printing Utilities (プロダクト番号 5761-AF1) のバージョン 6、リリース 1、モディフィケーション 0 に適用されます。また、改訂版で断りがない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CISC モデルでは稼働しません。

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System i
Programming
Advanced Function Printing Utilities commands
Version 6 Release 1

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2008.2

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2008. All rights reserved.

目次

PFMへのオーバーレイの変換 (CVTOVLPM)	1	PFDデータの印刷 (PRTPFDDTA)	25
ページ・セグメントのPFMへの変換 (CVTPAGSPFM)	5	AFPユーティリティーの開始 (STRAFPU)	33
PCDのページ・セグメントへの変換 (CVTPCDPAGS)	9	オーバーレイ・ユーティリティーの開始 (STROVLU)	35
PFMのページ・セグメントへの変換 (CVTPFMPAGS)	17	印刷様式設定ユーティリティーの開始 (STRPFU)	39
		付録. 特記事項.	43

PFMへのオーバーレイの変換 (CVTOVLPFM)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

PFMへのオーバーレイの変換

このコマンドによって、オーバーレイを物理データベース・ファイルのメンバーに変換することができます。

エラー・メッセージ: CVTOVLPFM

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

トップ

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
OVL	オーバーレイ	修飾オブジェクト名	必須, 定位置 1
	修飾子 1: オーバーレイ	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*LIBL</u> , *CURLIB	
DTAFMT	データ形式	*FIXED, *CONTINUOUS	必須, 定位置 2
FILE	TOファイル	修飾オブジェクト名	必須, 定位置 3
	修飾子 1: TOファイル	名前, *VM, *MVS	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*CURLIB</u>	
MBR	TOメンバー	名前, <u>*OVL</u>	オプション, 定位置 4
TEXT	テキスト'記述'	文字値, <u>*OVLTXT</u>	オプション
REPLACE	置き換え	*YES, <u>*NO</u>	オプション
CRTRFILE	ファイル作成	*YES, <u>*NO</u>	オプション
FILETEXT	テキスト'記述'	文字値, <u>*BLANK</u>	オプション

トップ

オーバーレイ(OVL)

変換されるオーバーレイの修飾名を指定します。これは必須パラメーターです。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

*LIBL オーバーレイを見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURLIB**

オーバーレイを見つけるためにジョブの現行ライブラリーが使用されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

オーバーレイが入っているライブラリーを指定してください。

[トップ](#)

データの形式(DTAFMT)

物理ファイル・メンバーにデータを入れる方法を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***FIXED**

1つのレコードが1つの構造化フィールドをもちます。埋め込み文字は2進数の0です。固定形式を使用するファイルのレコード長が、オーバーレイまたはページ・セグメントのAFPDS構造化フィールドの最長の長さとなります。既存のファイルの長さが構造化フィールドの最長の長さより小さい場合には、エラー・メッセージが表示されます。既存のファイルの長さが構造化フィールドの最長の長さより大きい場合には、そのレコードの終わりに埋め込み文字が追加されます。この様式はVMシステムまたはMVSシステムについてです。

***CONTINUOUS**

構造化フィールドが連続して入れられ、折り返されます。最後のレコードだけが埋め込み文字をもち、この埋め込み文字は2進数の0です。既存のファイルの任意のレコード長を使用することができます。作成されるファイルのレコード長は256バイトです。この様式はOS/2システムについてです。

これは必須パラメーターです。

[トップ](#)

ファイル(FILE)

オーバーレイ・データを入れるのに使用する物理ファイルの修飾名を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***VM** OVLV38PPの名前が使用されることを指定します。これは、VMシステムのオーバーレイで有効なファイル・タイプとなります。

***MVS** 01XXXXXXの名前が使用されることを指定します。この'XXXXXX'は、OVLパラメーターに指定された名前の最初の有効な6桁です。これは、MVSシステムのオーバーレイで有効なメンバー名となります。

物理ファイル名

オーバーレイ・データを埋め込むのに使用する物理ファイルの名前を入力してください。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ファイルが見つけられます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ファイルが入っているライブラリーを指定してください。

[トップ](#)

メンバー(MBR)

オーバーレイ・データを入れる物理ファイル・メンバーの名前を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***OVL** OVLパラメーターに指定されたオーバーレイの名前を指定します。

メンバー名

オーバーレイ・データを埋め込むのに使用するメンバーの名前を指定してください。

[トップ](#)

テキスト'記述'(TEXT)

メンバーとその機能を簡単に記述するテキストを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***OVLTXT**

OVLパラメーターに指定されたのと同じ記述を指定します。

'記述' 50文字を超えないテキストをアポストロフィで囲んで指定します。

[トップ](#)

置き換え(REPLACE)

ライブラリーに同じ名前の物理ファイル・メンバーがすでに存在している場合には、物理ファイル・メンバーを既存の物理ファイル・メンバーと置き換えるかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***NO** ライブラリーに同じ名前の旧物理ファイル・メンバーが存在している場合には、新しい物理ファイル・メンバーは作成されません。

***YES** 新しい物理ファイル・メンバーが作成されて、旧物理ファイル・メンバーがこれによって置き換えられます。

[トップ](#)

ファイルの作成(CRTFILE)

ファイルが存在しない場合にファイルを作成するかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***NO** ファイルを作成しません。

***YES** ファイルを作成します。

[トップ](#)

テキスト'記述'(FILETEXT)

ファイルとその機能を簡単に記述するテキストを指定します。このプロンプトが有効なのは、CRTFILEパラメーターが*YESの場合だけです。

使用できる値は次の通りです:

***BLANK**

テキストは指定されません。

'記述' 50文字を超えないテキストをアポストロフィで囲んで指定します。

[トップ](#)

例

なし

[トップ](#)

エラー・メッセージ

***ESCAPE** メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

[トップ](#)

ページ・セグメントのPFMへの変換 (CVTPAGSPFM)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

PFMへのページ・セグメントの変換

このコマンドによって、ページ・セグメントを物理データベース・ファイルのメンバーに変換することができます。

エラー・メッセージ: CVTPAGSPFM

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

トップ

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
PAGSEG	ページ・セグメント	修飾オブジェクト名	必須, 定位置 1
	修飾子 1: ページ・セグメント	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*LIBL</u> , <u>*CURLIB</u>	
DTAFMT	データ形式	<u>*FIXED</u> , <u>*CONTINUOUS</u>	必須, 定位置 2
FILE	TOファイル	修飾オブジェクト名	必須, 定位置 3
	修飾子 1: TOファイル	名前, <u>*VM</u> , <u>*MVS</u>	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*CURLIB</u>	
MBR	TOメンバー	名前, <u>*PAGSEG</u>	オプション, 定位置 4
TEXT	テキスト'記述'	文字値, <u>*PSGTX</u> T	オプション
REPLACE	置き換え	<u>*YES</u> , <u>*NO</u>	オプション
CRFILE	ファイル作成	<u>*YES</u> , <u>*NO</u>	オプション
FILETEXT	テキスト'記述'	文字値, <u>*BLANK</u>	オプション

トップ

ページ・セグメント(PAGSEG)

変換されるページ・セグメントの修飾名を指定します。これは必須パラメーターです。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***LIBL** ページ・セグメントを見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ページ・セグメントが見つけれられます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ページ・セグメントが入っているライブラリーを指定してください。

トップ

データの形式(DTAFMT)

物理ファイル・メンバーにデータを入れる方法を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***FIXED**

1つのレコードが1つの構造化フィールドをもちます。埋め込み文字は2進数の0です。固定形式を使用するファイルのレコード長が、オーバーレイまたはページ・セグメントのAFPDS構造化フィールドの最長の長さとなります。既存のファイルの長さが構造化フィールドの最長の長さより小さい場合には、エラー・メッセージが表示されます。既存のファイルの長さが構造化フィールドの最長の長さより大きい場合には、そのレコードの終わりに埋め込み文字が追加されます。この様式はVMシステムまたはMVSシステムについてです。

***CONTINUOUS**

構造化フィールドが連続して入れられ、折り返されます。最後のレコードだけが埋め込み文字をもち、この埋め込み文字は2進数の0です。既存のファイルの任意のレコード長を使用することができます。作成されるファイルのレコード長は256バイトです。この様式はOS/2システムについてです。

これは必須パラメーターです。

トップ

ファイル(FILE)

ページ・セグメント・データを入れるのに使用する物理ファイルの修飾名を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***VM** PSEG38PPの名前が使用されることを指定します。これは、VMシステムのページ・セグメントに有効なファイル・タイプとなります。

***MVS** S1XXXXXXの名前が使用されることを指定します。この'XXXXXX'は、PAGESEGパラメーターに指定された名前の最初の有効な6桁です。これは、MVSシステムのページ・セグメントで有効なメンバー名となります。

物理ファイル名

ページ・セグメント・データを埋め込むのに使用する物理ファイルの名前を入力してください。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ファイルが見つけられます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ファイルが入っているライブラリーを指定してください。

[トップ](#)

メンバー(MBR)

ページ・セグメント・データを入れる物理ファイルの名前を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PAGSEG**

PAGSEGパラメーターに指定されたページ・セグメントの名前を指定します。

メンバー名

ページ・セグメント・データを埋め込むのに使用するメンバーの名前を指定してください。

[トップ](#)

テキスト'記述'(TEXT)

メンバーとその機能を簡単に記述するテキストを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PSGTX**

PAGSEGパラメーターに指定されたのと同じ記述を指定します。

'記述' 50文字を超えないテキストをアポストロフィで囲んで指定します。

[トップ](#)

置き換え(REPLACE)

ライブラリーに同じ名前の物理ファイル・メンバーがすでに存在している場合には、物理ファイル・メンバーを既存の物理ファイル・メンバーと置き換えるかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***NO** ライブラリーに同じ名前の旧物理ファイル・メンバーが存在している場合には、新しい物理ファイル・メンバーは作成されません。

***YES** 新しい物理ファイル・メンバーが作成されて、旧物理ファイル・メンバーがこれによって置き換えられます。

[トップ](#)

ファイルの作成(CRTFILE)

ファイルが存在しない場合にファイルを作成するかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***NO** ファイルを作成しません。

***YES** ファイルを作成します。

[トップ](#)

テキスト'記述'(FILETEXT)

ファイルとその機能を簡単に記述するテキストを指定します。このプロンプトが有効なのは、CRTFILEパラメーターが*YESの場合だけです。

使用できる値は次の通りです:

***BLANK**

テキストは指定されません。

'記述' 50文字を超えないテキストをアポストロフィで囲んで指定します。

[トップ](#)

例

なし

[トップ](#)

エラー・メッセージ

***ESCAPE** メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

[トップ](#)

PCDのページ・セグメントへの変換 (CVTPCDPAGS)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

PCDのページ・セグメントへの変換

このコマンドによって、フォルダー中のPC文書をページ・セグメントに変換することができます。PC文書には、1つだけのイメージ・データ・ストリーム(IMDS)または1つのイメージ・オブジェクト内容体系(IOCA)機能セット10イメージ・データ・ストリームが入っていない必要があります。

エラー・メッセージ: CVTPCDPAGS

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

[トップ](#)

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
PAGSEG	ページ・セグメント	修飾オブジェクト名	必須, キー, 定位置 1
	修飾子 1: ページ・セグメント	名前, *PRV	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *CURLIB	
FRMFLR	取り出しフォルダー	文字値, *PRV	オプション, キー, 定位置 2
FRMDOC	送信元PC文書	名前, *PRV, *PAGSEG	オプション, キー, 定位置 3
CHGIMGSIZE	イメージ・サイズの変更	*SAME, *NO, *YES	オプション, 定位置 4
IMGSIZE	イメージ域サイズ	要素リスト	オプション, 定位置 5
	要素 1: 単位	*SAME, *INCH, *CM	
	要素 2: 幅	0.1-57.79, *SAME	
	要素 3: 長さ	0.1-57.79, *SAME	
MAPPING	マッピング・オプション	*PAT, *STF, *CAT, *IPTP, *IPTPD, *SAME	オプション, 定位置 6
IMGRTT	回転の角度	0, 90, 180, 270, *SAME	オプション, 定位置 7
CHGOFF	イメージ・オフセットの変更	*NO, *YES	オプション, 定位置 8
AUT	権限	名前, *LIBCRTAUT, *CHANGE, *ALL, *USE, *EXCLUDE, *SAME	オプション

キーワード	記述	選択項目	注
TEXT	テキスト'記述'	文字値, *SAME, *BLANK	オプション
REPLACE	置き換え	*NO, *YES	オプション

トップ

ページ・セグメント(PAGSEG)

作成するページ・セグメントの修飾名を指定します。これは必須パラメーターです。

使用できる値は次の通りです:

***PRV** このコマンドを最後に実行した時に使用されたページ・セグメントおよびライブラリーの名前を使用することを指定します。PAGSEGパラメーターに*PRVを指定した場合には、ライブラリーを指定する必要はありません。

ページ・セグメント名

作成するページ・セグメント名を指定します。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

*CURLIB

ページ・セグメントを作成するために、ジョブの現行ライブラリーが使用されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ページ・セグメントを作成するライブラリーを指定してください。

トップ

FROMフォルダー(FRMFLR)

変換するPC文書が入っているフォルダーの名前を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PRV** 同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したフォルダーの名前であることを指定します。

フォルダー名

フォルダー名を指定してください。

トップ

FROM PC文書(FRMDOC)

変換するPC文書名を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PRV** 同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したP C文書の名前であることを指定します。

***PAGSEG**

作成するページ・セグメントの名前がP C文書の名前と同じであることを指定します。

PC文書名

変換するP C文書名を指定してください。

トップ

イメージ・サイズの変更(CHGIMGSIZE)

ページ・セグメント中のイメージのサイズを変更するかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した、このパラメーターの同じ値であることを指定します。

***NO** イメージ・サイズを変更しないことを指定します。

***YES** イメージ・サイズを変更することを指定します。

***YES**を指定した場合には、IMGSIZEおよびMAPOPTパラメーターが表示され、ページ・セグメントの新しいイメージ・サイズ、および入力イメージのサイズへのマップ方法を指定することができます。

トップ

イメージ区域サイズ(IMGSIZE)

イメージ・サイズの変更パラメーターが***YES**と指定された時に、ページ・セグメントに作成されるイメージの単位、幅、および長さを指定します。イメージ・サイズの変更が***NO**と指定された時には、このプロンプトは無視されます。

測定単位

次の2つのパラメーターを指定するために使用される単位を指定してください。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した単位であることを指定します。

***INCH**

単位としてインチが使用されます。

***CM** 単位としてセンチメートルが使用されます。

幅 作成するイメージの幅を指定してください。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した幅の値であることを指定します。

幅の値 選択した単位で幅の値を指定してください。

長さ 作成するイメージの長さを指定してください。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した長さの値であることを指定します。

長さの値

選択した単位で長さの値を指定してください。

トップ

マッピング・オプション(MAPPING)

イメージ・サイズの変更パラメーターが*YESと指定された時に、入力イメージがページ・セグメント中の出力イメージの指定されたサイズにどのようにマップされるかを指定します。イメージ・サイズの変更が*NOと指定された時には、このプロンプトは無視されます。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したマッピング・オプションであることを指定します。

***PAT (位置決めおよびトリム)**

入力イメージの左上隅が出力イメージ域の左上隅に位置づけられます。イメージ・サイズは変更されず、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分はトリミングされます。

***STF (合わせて位取り)**

入力イメージの中心が出力イメージ域の中心に位置づけられます。入力イメージが出力イメージ・サイズに収まるように、イメージ・サイズが変更されます。

***CAT (中央そろえおよびトリム)**

入力イメージの中心が出力イメージ域の中心に位置づけられます。イメージ・サイズは変更されず、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分はトリミングされます。

***IPTP (画素へのイメージ・ポイント)**

入力イメージの左上隅が出力イメージ域の左上隅に位置づけられます。分析解決上の訂正は行なわれず、入力イメージの各イメージ・ポイントが、出力印刷装置の1画素にマッピングされます。イメージ・サイズは、出力印刷装置の画素密度によって変わることがあり、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分は、トリミングされます。

***IPTPD (二重点線の画素へのイメージ・ポイント)**

入力イメージの左上隅が出力イメージ域の左上隅に位置づけられます。分析解決上の訂正は行なわれず、入力イメージの各イメージ・ポイントが、両方の次元で二重化(複写)され、出力印刷装置

の画素にマッピングされます。イメージ・サイズは、出力印刷装置の画素密度によって変わることがあり、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分は、トリミングされます。

トップ

回転の角度(IMGRTT)

出力イメージの右回り回転の角度を指定します。回転の中心はイメージの左上隅です。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した回転の角度であることを指定します。

- 0** 回転は行なわれません。
- 90** イメージは右回りに90度回転します。
- 180** イメージは右回りに180度回転します。
- 270** イメージは右回りに270度回転します。

トップ

イメージ・オフセットの変更(CHGOFF)

オフセットの変更なしで作成された回転IOCAイメージ（ページ・セグメント）は、対応する回転されていないイメージが回転されていないレイアウト上に置かれる回転オーバーレイ、レコード・レイアウト、またはページ・レイアウト上の同じ位置に置くことができます。

このオプションを使用してオフセットを変更した場合には、回転イメージの左上隅がオーバーレイまたはレイアウト上の指定された位置に配置されます。この配置は、IM1ラスター・イメージに使用されるのと同じです。90度回転するイメージの場合には、左上隅が回転しないイメージの左下隅と同じになります。180度回転するイメージの場合には、左上隅が回転しないイメージの右下隅と同じになります。

使用できる値は次の通りです:

***NO** オフセットは変更されません。

***YES** イメージが必ずIM1ラスター・イメージと同じレイアウト上に配置されるように、オフセットが変更されます。

トップ

権限(AUT)

特定権限をもっていないユーザー、権限リスト上にないユーザー、そのユーザー・グループが、作成したページ・セグメントに対する特定権限をもっていないユーザーに、認可する権限を指定します。ページ・セグメントがすでに存在しているか、あるいはこれにより置き換えられる場合には、この値は無視され、現行の権限のままになります。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した権限であることを指定します。

***LIBCRTAUT**

システムは、作成するページ・セグメントが入っているライブラリーに対して、ライブラリー作成コマンド(CRTLIB)で作成権限プロンプト (CRTAUTパラメーター) に指定された値を使用して、ページ・セグメントの権限を決定します。作成権限プロンプト (CRTAUTパラメーター) に指定された値を変更した場合には、新しい値は、このページ・セグメントに影響しません。

***CHANGE**

変更権限によって、ユーザーは、所有者に限定されていたり、オブジェクト存在権限およびオブジェクト管理権限によって制御されるものを除き、ページ・セグメントのすべての操作を実行することができます。ユーザーはページ・セグメントを変更し、ページ・セグメントで基本機能を実行することができます。変更権限は、オブジェクト操作権およびすべてのデータ権限を提供します。

***ALL** 全権限によって、ユーザーは、所有者に限定されていたり、権限リスト管理権限によって制御されるものを除き、ページ・セグメント上のすべての操作を実行することができます。ユーザーは、ページ・セグメントの存在性の管理、ページ・セグメントの機密保護の指定、ページ・セグメントの変更、およびページ・セグメントでの基本機能の実行を行なうことができます。ユーザーは、ページ・セグメントの所有権を移行することはできません。

***USE** 使用権限によって、ユーザーは、ページ・セグメントでページ・セグメントの読み取りなどの基本機能を実行することができます。ユーザーは、ページ・セグメントを変更することはできません。使用権限は、オブジェクト操作権および読み取り権限を提供します。

***EXCLUDE**

排他権限によって、ユーザーはページ・セグメントにアクセスすることができません。

権限リスト名

権限リストの名前を指定してください。権限リストに含まれるユーザーは、リストによって指定された通りのページ・セグメントに対する権限が認可されます。ページ・セグメントを作成する時に、権限リストが存在していなければなりません。

トップ

テキスト'記述'(TEXT)

作成するページ・セグメントを簡単に説明したテキストを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したテキストであることを指定します。

***BLANK**

テキストがブランクであることを指定します。

'記述' 50文字を超えないテキストをアポストロフィで囲んで指定します。

トップ

置き換え(REPLACE)

同じ名前のページ・セグメントがすでにライブラリー中に存在している場合に、ページ・セグメントで既存のページ・セグメントを置き換えるかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***YES** 新しいページ・セグメントが作成され、旧のページ・セグメントがそれで置き換えられます。

***NO** 同じ名前の旧のページ・セグメントがすでにライブラリー中に存在している場合には、新しいページ・セグメントは作成されません。

[トップ](#)

例

なし

[トップ](#)

エラー・メッセージ

***ESCAPE** メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

[トップ](#)

PFMのページ・セグメントへの変換 (CVTPFMPAGS)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

PFMのページ・セグメントへの変換

このコマンドによって、物理データベース・ファイル中のメンバーをページ・セグメントに変換することができます。メンバーには、1つだけのイメージ・データ・ストリーム(IMDS)または1つのイメージ・オブジェクト内容体系(IOCA)機能セット10 イメージ・データ・ストリームが入っていない必要があります。

エラー・メッセージ: CVTPFMPAGS

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

[トップ](#)

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
PAGSEG	ページ・セグメント	修飾オブジェクト名	必須, キー, 定位置 1
	修飾子 1: ページ・セグメント	名前, *PRV	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *CURLIB	
FILE	取り出しファイル	単一値: *PRV その他の値: 修飾オブジェクト名	オプション, キー, 定位置 2
	修飾子 1: 取り出しファイル	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *LIBL, *CURLIB	
MBR	取り出しメンバー	名前, *PRV, *PAGSEG	オプション, キー, 定位置 3
CHGIMGSIZE	イメージ・サイズの変更	*SAME, *NO, *YES	オプション, 定位置 4
IMGSIZE	イメージ域サイズ	要素リスト	オプション, 定位置 5
	要素 1: 単位	*SAME, *INCH, *CM	
	要素 2: 幅	0.1-57.79, *SAME	
	要素 3: 長さ	0.1-57.79, *SAME	
MAPPING	マッピング・オプション	*PAT, *STF, *CAT, *IPTP, *IPTPD, *SAME	オプション, 定位置 6
IMGRIT	回転の角度	0, 90, 180, 270, *SAME	オプション, 定位置 7
CHGOFF	イメージ・オフセットの変更	*NO, *YES	オプション, 定位置 8

キーワード	記述	選択項目	注
AUT	権限	名前, *LIBCRTAUT, *CHANGE, *ALL, *USE, *EXCLUDE, <u>*SAME</u>	オプション, 位置 9
TEXT	テキスト'記述'	文字値, <u>*SAME</u> , *BLANK	オプション, 位置 10
REPLACE	置き換え	*NO, <u>*YES</u>	オプション, 位置 11

トップ

ページ・セグメント(PAGSEG)

作成するページ・セグメントの修飾名を指定します。これは必須パラメーターです。

使用できる値は次の通りです:

***PRV** このコマンドを最後に実行した時に使用されたページ・セグメントおよびライブラリーの名前を使用することを指定します。PAGSEGパラメーターに*PRVを指定した場合には、ライブラリーを指定する必要はありません。

ページ・セグメント名

作成するページ・セグメント名を指定します。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

*CURLIB

ページ・セグメントを作成するために、ジョブの現行ライブラリーが使用されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ページ・セグメントを作成するライブラリーを指定してください。

トップ

FROMファイル(FILE)

変換されるメンバーが入っている物理ファイルの修飾名を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PRV** 同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したファイルおよびライブラリーであることを指定します。

ファイル名

使用する既存の物理データベース・ファイルの名前を入力してください。ライブラリー名を指定しない場合には、*LIBLが使用されます。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

*LIBL ファイルを見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ファイルが見つけられます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ファイルが入っているライブラリーを指定してください。

トップ

FROMメンバー(MBR)

変換される物理ファイル・メンバーの名前を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PRV** 同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したメンバー名であることを指定します。

***PAGSEG**

作成するページ・セグメントの名前がメンバーの名前と同じであることを指定します。

メンバー名

変換されるメンバー名を指定してください。

トップ

イメージ・サイズの変更(CHGIMGSIZE)

ページ・セグメント中のイメージのサイズを変更するかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した、このパラメーターの同じ値であることを指定します。

***NO** イメージ・サイズを変更しないことを指定します。

***YES** イメージ・サイズを変更することを指定します。

***YES**を指定した場合には、IMGSIZEおよびMAPOPTパラメーターが表示され、ページ・セグメントの新しいイメージ・サイズ、および入力イメージのサイズへのマップ方法を指定することができます。

トップ

イメージ区域サイズ(IMGSIZE)

イメージ・サイズの変更パラメーターが***YES**と指定された時に、ページ・セグメントに作成されるイメージの単位、幅、および長さを指定します。イメージ・サイズの変更が***NO**と指定された時には、このプロンプトは無視されます。

測定単位

次の2つのパラメーターを指定するために使用される単位を指定してください。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した単位であることを指定します。

***INCH**

単位としてインチが使用されます。

***CM** 単位としてセンチメートルが使用されます。

幅 作成するイメージの幅を指定してください。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した幅の値であることを指定します。

幅の値 選択した単位で幅の値を指定してください。

長さ 作成するイメージの長さを指定してください。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した長さの値であることを指定します。

長さの値

選択した単位で長さの値を指定してください。

[トップ](#)

マッピング・オプション(MAPPING)

イメージ・サイズの変更パラメーターが*YESと指定された時に、入力イメージがページ・セグメント中の出力イメージの指定されたサイズにどのようにマップされるかを指定します。イメージ・サイズの変更が*NOと指定された時には、このプロンプトは無視されます。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したマッピング・オプションであることを指定します。

***PAT (位置決めおよびトリム)**

入力イメージの左上隅が出力イメージ域の左上隅に位置づけられます。イメージ・サイズは変更されず、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分はトリミングされます。

***STF (合わせて位取り)**

入力イメージの中心が出力イメージ域の中心に位置づけられます。入力イメージが出力イメージ・サイズに収まるように、イメージ・サイズが変更されます。

***CAT (中央そろえおよびトリム)**

入力イメージの中心が出力イメージ域の中心に位置づけられます。イメージ・サイズは変更されず、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分はトリミングされます。

***IPTP (画素へのイメージ・ポイント)**

入力イメージの左上隅が出力イメージ域の左上隅に位置づけられます。分析解決上の訂正は行なわれず、入力イメージの各イメージ・ポイントが、出力印刷装置の1画素にマッピングされます。イメージ・サイズは、出力印刷装置の画素密度によって変わることがあり、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分は、トリミングされます。

***IPTPD (二重点線の画素へのイメージ・ポイント)**

入力イメージの左上隅が出力イメージ域の左上隅に位置づけられます。分析解決上の訂正は行なわれず、入力イメージの各イメージ・ポイントが、両方の次元で二重化(複写)され、出力印刷装置の画素にマッピングされます。イメージ・サイズは、出力印刷装置の画素密度によって変わることがあり、出力イメージ・サイズの外側になる入力イメージの部分は、トリミングされます。

トップ

回転の角度(IMGRTT)

出力イメージの右回り回転の角度を指定します。回転の中心はイメージの左上隅です。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した回転の角度であることを指定します。

- 0** 回転は行なわれません。
- 90** イメージは右回りに90度回転します。
- 180** イメージは右回りに180度回転します。
- 270** イメージは右回りに270度回転します。

トップ

イメージ・オフセットの変更(CHGOFF)

オフセットの変更なしで作成された回転IOCAイメージ(ページ・セグメント)は、対応する回転されていないイメージが回転されていないレイアウト上に置かれる回転オーバーレイ、レコード・レイアウト、またはページ・レイアウト上の同じ位置に置くことができます。

このオプションを使用してオフセットを変更した場合には、回転イメージの左上隅がオーバーレイまたはレイアウト上の指定された位置に配置されます。この配置は、IM1ラスタ・イメージに使用されるのと同じです。90度回転するイメージの場合には、左上隅が回転しないイメージの左下隅と同じになります。180度回転するイメージの場合には、左上隅が回転しないイメージの右下隅と同じになります。

使用できる値は次の通りです:

***NO** オフセットは変更されません。

***YES** イメージが必ずIM1ラスタ・イメージと同じレイアウト上に配置されるように、オフセットが変更されます。

権限(AUT)

特定権限をもっていないユーザー、権限リスト上にないユーザー、そのユーザー・グループが、作成したページ・セグメントに対する特定権限をもっていないユーザーに、認可する権限を指定します。ページ・セグメントがすでに存在しているか、あるいはこれにより置き換えられる場合には、この値は無視され、現行の権限のままになります。

使用できる値は次の通りです:

*SAME

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用した権限であることを指定します。

*LIBCRTAUT

システムは、作成するページ・セグメントが入っているライブラリーに対して、ライブラリー作成コマンド(CRTLIB)で作成権限プロンプト (CRTAUTパラメーター) に指定された値を使用して、ページ・セグメントの権限を決定します。作成権限プロンプト (CRTAUTパラメーター) に指定された値を変更した場合には、新しい値は、このページ・セグメントに影響しません。

*CHANGE

変更権限によって、ユーザーは、所有者に限定されていたり、オブジェクト存在権限およびオブジェクト管理権限によって制御されるものを除き、ページ・セグメントのすべての操作を実行することができます。ユーザーはページ・セグメントを変更し、ページ・セグメントで基本機能を実行することができます。変更権限は、オブジェクト操作権およびすべてのデータ権限を提供します。

*ALL 全権限によって、ユーザーは、所有者に限定されていたり、権限リスト管理権限によって制御されるものを除き、ページ・セグメント上のすべての操作を実行することができます。ユーザーは、ページ・セグメントの存在性の管理、ページ・セグメントの機密保護の指定、ページ・セグメントの変更、およびページ・セグメントでの基本機能の実行を行なうことができます。ユーザーは、ページ・セグメントの所有権を移行することはできません。

*USE 使用権限によって、ユーザーは、ページ・セグメントでページ・セグメントの読み取りなどの基本機能を実行することができます。ユーザーは、ページ・セグメントを変更することはできません。使用権限は、オブジェクト操作権限および読み取り権限を提供します。

*EXCLUDE

排他権限によって、ユーザーはページ・セグメントにアクセスすることができません。

権限リスト名

権限リストの名前を指定してください。権限リストに含まれるユーザーは、リストによって指定された通りのページ・セグメントに対する権限が認可されます。ページ・セグメントを作成する時に、権限リストが存在していなければなりません。

テキスト'記述'(TEXT)

作成するページ・セグメントを簡単に説明したテキストを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***SAME**

同じ名前のページ・セグメントを前に作成した時に使用したテキストであることを指定します。

***BLANK**

テキストがブランクであることを指定します。

'記述' 50文字を超えないテキストをアポストロフィで囲んで指定します。

トップ

置き換え(REPLACE)

同じ名前のページ・セグメントがすでにライブラリー中に存在している場合に、ページ・セグメントで既存のページ・セグメントを置き換えるかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***YES** 新しいページ・セグメントが作成され、旧のページ・セグメントがそれで置き換えられます。

***NO** 同じ名前の旧のページ・セグメントがすでにライブラリー中に存在している場合には、新しいページ・セグメントは作成されません。

トップ

例

なし

トップ

エラー・メッセージ

***ESCAPE** メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

トップ

PFDDデータの印刷 (PRTPFDDTA)

実行可能場所: すべての環境 (*ALL)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

このコマンドによって、PFDD定義の設計にしたがってデータベース・ファイル・メンバーを印刷することができます。

エラー・メッセージ: PRTPFDDTA

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

AFP0040

ライブラリー&1のデータベース・ファイル&2を割り振ることができない。

AFP22A0

印刷要求が取り消された。

トップ

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
PFDFILE	PFDDファイル	修飾オブジェクト名	必須, 定位置 1
	修飾子 1: PFDDファイル	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *LIBL, *CURLIB	
PFDMBR	PFDD定義	名前, *FIRST	オプション, 定位置 2
FILE	データベース・ファイル	単一値: *PFDD その他の値: 修飾オブジェクト名	オプション, 定位置 3
	修飾子 1: データベース・ファイル	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *LIBL, *CURLIB	
MBR	メンバー	名前, *FIRST	オプション, 定位置 4
GRID	格子の組み込み	*YES, *NO, *YES, *NO	オプション, 定位置 5
RCDSLTT	レコード選択	*YES, *NO, *YES, *NO	オプション, 定位置 6
ENDPAGE	終了ページ	1-9999, *END	オプション, 定位置 7
DRAWER	ソース用紙入れ	1-255, *PFDD, *E1, *CUT	オプション, 定位置 8

キーワード	記述	選択項目	注
OUTBIN	出力ビン	1-65535, *DEVD	オプション、位置 9
COPIES	コピー部数	1-255, *PFD	オプション、位置 10
OUTQ	出力待ち行列	単一値: *JOB その他の値: 修飾オブジェクト名	オプション、位置 11
	修飾子 1: 出力待ち行列	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *LIBL , *CURLIB	
FORMDF	用紙定義	修飾オブジェクト名	オプション、位置 12
	修飾子 1: 用紙定義	名前, *PFD , *DEVD , *INLINE	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *LIBL , *CURLIB	

トップ

PFDFファイル(PDFFILE)

使用するPFDF定義が入っているPFDF定義ファイルおよびライブラリーを指定します。

使用できる値は次の通りです:

PFDF定義ファイル名

使用する既存のPFDF定義ファイルの名前を入力してください。PFDF定義ファイル名およびライブラリー名を指定した場合には、印刷様式ユーティリティは、PFDF定義ファイルに対して指定したライブラリーを検索します。ライブラリー名を指定しない場合には、***LIBL**が使用されます。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***LIBL** ファイルを見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ファイルが見つかります。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ファイルが入っているライブラリーを指定してください。

トップ

PFDF定義(PDFMBR)

データベース・ファイル・メンバーを印刷するために使用するPFDF定義の名前を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***FIRST**

これが省略時の値です。PFDF定義ファイルの最初のPFDF定義が使用されます。

PFDF定義名

使用したいPFDF定義の名前を入力してください。

データベース・ファイル(FILE)

印刷するメンバーが入っているデータベース・ファイルおよびライブラリーを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PFD** メンバーを印刷するために、PFD定義中に指定されているデータベース・ファイルおよびライブラリーが使用されることを指定します。

ファイル名

使用する既存のデータベース・ファイルの名前を入力してください。ファイル名およびライブラリー名を指定した場合には、印刷様式ユーティリティーは、データベース・ファイルに対して指定したライブラリーを検索します。ライブラリー名を指定しない場合には、*LIBLが使用されます。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***LIBL** ファイルを見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

*CURLIB

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ファイルが見つけられます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ファイルが入っているライブラリーを指定してください。

メンバー(MBR)

印刷するメンバーの名前を指定します。

使用できる値は次の通りです:

*FIRST

これが省略時の値です。データベース・ファイルの最初のメンバーが印刷されます。

メンバー名

印刷したいメンバーの名前を入力してください。

格子の組み込み(GRID)

印刷出力に格子線を組み込むかどうかを指定します。格子線は横の線と縦の線から構成され、横の線間の距離および縦の線間の距離がPFD仕様に指定されています。

使用できる値は次の通りです:

***NO** これが省略時の値です。印刷出力に格子線は組み込まれません。

***YES** 印刷出力に格子線が組み込まれます。

レコード選択(RCDSLTL)

PFD定義に指定された選択条件にしたがって、レコードを選択するかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***YES** PFD定義に指定された選択条件に一致したレコードだけを選択して、印刷したい場合に、*YESを入力してください。

PFD定義に指定された条件がない場合には、すべてのレコードが印刷されます。

***NO** PFD定義に指定された選択条件に関係なく、すべてのレコードを印刷したい場合には、*NOを入力してください。

トップ

終了ページ(ENDPAGE)

特定のページで印刷を停止するか、あるいはすべてのレコードが処理されるまで印刷を続行するかどうかを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***END** すべてのレコードが処理されるまで印刷することを指定します。

ページ番号

印刷される最後のページ番号を指定します。このパラメーターによって指定された最後のページが印刷されると、印刷様式ユーティリティーが印刷を停止します。最後のページが印刷される前に、すべてのレコードが処理されている場合には、印刷様式ユーティリティーは印刷を停止します。

使用できる値の範囲は1-9999です。

トップ

ソース用紙入れ(DRAWER)

単票用紙を印刷装置に供給する時に使用されるソース用紙入れを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PFD** 印刷出力仕様 に指定された値が使用されます。*PFDが省略時の値です。

***E1** 封筒は、カット用紙送り機構の封筒引き出しから送られます。

***CUT** 手動紙送りの印刷装置の場合には、単票用紙は手動紙送り機構によって手操作で送られます。

ソース用紙入れ

用紙がそこから送られる用紙入れを指定してください。有効な値の範囲は1-255 です。手動紙送りの印刷装置の場合には、100の指定が*CUTの指定と同じです。

トップ

出力ビン(OUTBIN)

複数出力ビンが可能な印刷装置での出力の宛先を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***DEVD**

装置記述 に指定された値が使用されます。*DEVDが省略時の値です。

出力ビン

出力の宛先用の出力ビンを指定してください。有効な値の範囲は1 - 65535です。

[トップ](#)

コピー部数(COPIES)

印刷するコピー部数を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PFD** PFD定義に指定された数を使用することを指定します。

これが省略時の値です。

コピー部数

印刷するコピー部数を指定します。

使用できる値の範囲は1-255です。

[トップ](#)

出力待ち行列(OUTQ)

スプール・ファイルが作成される出力待ち行列の修飾名を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***JOB** このジョブと関連したジョブ記述に指定された出力待ち行列を使用することを指定します。

これが省略時の値です。

出力待ち行列名

使用する出力待ち行列の名前を指定します。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***LIBL** 出力待ち行列を見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURLIB**

出力待ち行列を見つけるためにジョブの現行ライブラリーが使用されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

出力待ち行列が入っているライブラリーを指定してください。

[トップ](#)

用紙定義(FORMDF)

スプール・ファイルの印刷時に使用する用紙定義の修飾名を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PFD** メンバーを印刷するために、PFD定義中に指定されている用紙定義およびライブラリーが使用されることを指定します。

***DEV D**

印刷装置の装置記述に指定されている用紙定義が使用されることを指定します。

***INL I N E**

印刷形式ユーティリティーがF1AFPUという名前をもつインライン用紙定義を作成し、データの印刷時にその用紙定義を使用することを意味します。作成された用紙定義には、連続用紙印刷装置によるページ制御のために、印刷出力形式定義に指定されたページ幅および長さが入れます。これらの値は、その印刷装置のページ・サイズ制御値が*YESに設定された場合に使用されます。ページ・サイズ制御値を設定するためには、PSF構成処理(WRKPSFCFG)コマンドを使用してください。

用紙定義名

使用される用紙定義の名前を指定します。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***LIB L** 用紙定義を見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURL I B**

用紙定義を見つけるためにジョブの現行ライブラリーが使用されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

用紙定義が入っているライブラリーを指定してください。

トップ

例

なし

トップ

エラー・メッセージ

***ESCAPE** メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

AFP0040

ライブラリー&1のデータベース・ファイル&2を割り振ることができない。

AFP22A0

印刷要求が取り消された。

[トップ](#)

AFPユーティリティーの開始 (STRAFPU)

実行可能場所: 対話環境 (*INTERACT *IPGM *IREXX *EXEC)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

このコマンドは、AFPユーティリティー機能を使用できるAFPユーティリティー・メイン・メニューを表示します。

このコマンドにはパラメーターはありません。

エラー・メッセージ: STRAFPU

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

AFP10C0

AFPUメイン・メニューの表示中にエラーが起こった。

AFP22A0

印刷要求が取り消された。

AFP3303

ページ・セグメント&5はライブラリー&1に作成されなかった。

トップ

パラメーター

なし

トップ

例

なし

トップ

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

AFP10C0

AFPUメイン・メニューの表示中にエラーが起こった。

AFP22A0

印刷要求が取り消された。

AFP3303

ページ・セグメント&5はライブラリー&1に作成されなかった。

[トップ](#)

オーバーレイ・ユーティリティの開始 (STROVLU)

実行可能場所: 対話環境 (*INTERACT *IPGM *IREXX *EXEC)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

このコマンドによって、ソース・オーバーレイの処理画面を表示せずに、直接オーバーレイ・ユーティリティのオプションを実行することができます。

エラー・メッセージ: STROVLU

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

トップ

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
FILE	ソース・オーバーレイ・ファイル	単一値: <u>*PRV</u> その他の値: 修飾オブジェクト名	オプション, 位置 1
	修飾子 1: ソース・オーバーレイ・ファイル	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*LIBL</u> , *CURLIB	
MBR	ソース・オーバーレイ	名前, <u>*PRV</u> , *SELECT	オプション, 位置 2
OPTION	オプション	<u>*BLANK</u> , ' ', 1, 2, 3, 4, 6, 7, 9	オプション, 位置 3

トップ

ソース・オーバーレイ・ファイル(FILE)

処理するソース・オーバーレイが入っているソース・オーバーレイ・ファイルおよびライブラリーを指定します。

使用できる値は次の通りです:

***PRV** オーバーレイ・ユーティリティが、最後のオーバーレイ・ユーティリティ・セッションで使用したソース・オーバーレイ・ファイルおよびライブラリーの名前を使用することを指定します。
FILEパラメーターに*PRVを指定した場合には、ライブラリーを指定する必要はありません。

ソース・オーバーレイ・ファイル名

使用する既存のソース・オーバーレイ・ファイルの名前を入力してください。ソース・オーバーレイ

イ・ファイル名およびライブラリー名を指定した場合には、オーバーレイ・ユーティリティーは、ソース・オーバーレイ・ファイルに対して指定したライブラリーを検索します。ライブラリー名を指定しない場合には、*LIBLが使用されます。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***LIBL** ファイルを見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ファイルが見つけられます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ファイルが入っているライブラリーを指定してください。

[トップ](#)

ソース・オーバーレイ(MBR)

処理または作成するソース・オーバーレイの名前を指定します。このパラメーターの省略時の値は、FILEパラメーターを指定したかどうかによって決まります。

使用できる値は次の通りです:

***SELECT**

これは、FILEパラメーターを指定した場合の省略時の値です。*SELECTを選択した場合には、指定したソース・オーバーレイ・ファイルおよびライブラリー中のすべてのソース・オーバーレイのリストが表示されます。画面で、処理する1つまたは複数のソース・オーバーレイを選択してください。

***PRV** これは、FILEパラメーターを指定しない場合の省略時の値です。*PRVは、使用された前のソース・オーバーレイの名前です。

ソース・オーバーレイ名

処理したいソース・オーバーレイの名前を入力してください。

[トップ](#)

オプション(OPTION)

選択したソース・オーバーレイで実行する機能を指定します。

使用できる値は次の通りです:

***BLANKまたは' '**

これは、ソース・オーバーレイ名を指定しない場合の省略時の値です。*BLANKは処置しないことを指定します。

1=作成

ソース・オーバーレイを作成するためには、1を入力してください。

2=変更

これは、ソース・オーバーレイ名を指定した場合の省略時の値です。

ソース・オーバーレイを変更するためには、2を入力してください。

3=コピー

ソース・オーバーレイをコピーするためには、3を入力してください。

4=削除

ソース・オーバーレイを削除するためには、4を入力してください。

6=印刷

ソース・オーバーレイを印刷するためには、6を入力してください。

7=名前の変更

ソース・オーバーレイの名前を変更するためには、7を入力してください。

9=オーバーレイの作成

ソース・オーバーレイからオーバーレイを作成するためには、9を入力してください。

[トップ](#)

例

なし

[トップ](#)

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

[トップ](#)

印刷様式設定ユーティリティの開始 (STRPFU)

実行可能場所: 対話環境 (*INTERACT *IPGM *IREXX *EXEC)
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター
例
エラー・メッセージ

このコマンドによって、PFD定義の処理画面を表示せずに、直接印刷様式ユーティリティのオプションを実行することができます。

エラー・メッセージ: STRPFU

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

AFP22A0

印刷要求が取り消された。

トップ

パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
PFDFILE	PFDファイル	単一値: <u>*PRV</u> その他の値: 修飾オブジェクト名	オプション, 定位置 1
	修飾子 1: PFDファイル	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, <u>*LIBL</u> , *CURLIB	
PFDMBR	PFD定義	名前, <u>*PRV</u> , *SELECT	オプション, 定位置 2
OPTION	オプション	<u>*BLANK</u> , ' ', 1, 2, 3, 4, 6, 7, 9	オプション, 定位置 3

トップ

PFDファイル(PFDFILE)

処理するPFD定義が入っているPFD定義ファイルおよびライブラリーを指定します。

使用できる値は次の通りです:

*PRV 印刷様式ユーティリティが最後の印刷様式ユーティリティ・セッションで使用されたPFD定義ファイルおよびライブラリーの名前を使用することを指定します。PFDFILEパラメーターに*PRVを指定した場合には、ライブラリーを指定する必要はありません。

PFD定義ファイル名

使用する既存のPFD定義ファイルの名前を入力してください。PFD定義ファイル名およびライブラ

リー名を指定した場合には、印刷様式ユーティリティーは、PFD定義ファイルに対して指定したライブラリーを検索します。ライブラリー名を指定しない場合には、*LIBLが使用されます。

使用できるライブラリー値は次の通りです:

***LIBL** ファイルを見つけるためにライブラリー・リストが使用されます。

***CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーを使用して、ファイルが見つけられます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーを指定しない場合には、QGPLが使用されます。

ライブラリー名

ファイルが入っているライブラリーを指定してください。

トップ

PFDF定義(PFDMBR)

処理または作成するPFDF定義の名前を指定します。このパラメーターの省略時の値は、PFDFILEパラメーターを指定したかどうかによって決まります。

使用できる値は次の通りです:

***SELECT**

これは、PFDFILEパラメーターを指定した場合の省略時の値です。*SELECTを選択した場合には、指定したPFDF定義ファイルおよびライブラリー中のすべてのPFDF定義のリストが表示されます。画面で、処理する1つまたは複数のPFDF定義を選択してください。

***PRV** これは、PFDFILEパラメーターを指定しない場合の省略時の値です。*PRVは、使用された前のPFDF定義の名前です。

PFDF定義名

処理したいPFDF定義の名前を入力してください。

トップ

オプション(OPTION)

選択したPFDF定義で実行する機能を指定します。省略時の値は、PFDF定義名を指定したかどうかによって決まります。

使用できる値は次の通りです:

***BLANKまたは' '**

これは、PFDF定義名を指定しない場合の省略時の値です。*BLANKは処置しないことを指定します。

1=作成

PFDF定義を作成するためには、1を入力してください。

2=変更

これは、PFDF定義名を指定した場合の省略時の値です。
PFDF定義を変更するためには、2を入力してください。

3=コピー

PFD定義をコピーするためには、3を入力してください。

4=削除

PFD定義を削除するためには、4を入力してください。

6=印刷

PFD定義を印刷するためには、6を入力してください。

7=名前の変更

PFD定義の名前を変更するためには、7を入力してください。

9=データベース・ファイルの印刷

PFD定義を使用して、データベース・ファイル・メンバーを印刷するためには、9を入力してください。

[トップ](#)

例

なし

[トップ](#)

エラー・メッセージ

*ESCAPE メッセージ

AFP0010

エラーが起きました。

AFP22A0

印刷要求が取り消された。

[トップ](#)

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Software Interoperability Coordinator, Department YBWA
3605 Highway 52 N
Rochester, MN 55901
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、IBM 機械コードのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プログラミング・インターフェース情報

本書 (AFP Utilities コマンド) には、プログラムを作成するユーザーが IBM Advanced Function Printing Utilities のサービスを使用するためのプログラミング・インターフェースが記述されています。

商標

以下は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Advanced Function Printing
AFP
AS/400
CICS
COBOL/400
C/400
DataPropagator
DB2
Distributed Relational Database Architecture
Lotus Domino
DRDA
IBM
Infoprint
InfoWindow
i5/OS
iSeries
Integrated Language Environment
Lotus
LPDA OfficeVision
Print Services Facility
RPG/400
System i
System x
SystemView
System/36
TCS
Tivoli
WebSphere
z/OS

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、および PostScript ロゴは、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

Intel、Intel (ロゴ)、Intel Inside、Intel Inside (ロゴ)、Intel Centrino、Intel Centrino (ロゴ)、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

コードに関するライセンス情報および特記事項

IBM は、お客様に、すべてのプログラム・コードのサンプルを使用することができる非独占的な著作使用権を許諾します。お客様は、このサンプル・コードから、お客様独自の特別のニーズに合わせた類似のプログラムを作成することができます。

強行法規で除外を禁止されている場合を除き、IBM、そのプログラム開発者、および供給者は「プログラム」および「プログラム」に対する技術的サポートがある場合にはその技術的サポートについて、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、IBM および IBM のサプライヤーならびに IBM ビジネス・パートナーは、その予見の有無を問わず発生した以下のものについて賠償責任を負いません。

1. データの喪失、または損傷。
2. 直接損害、特別損害、付随的損害、間接損害、または経済上の結果的損害
3. 逸失した利益、ビジネス上の収益、あるいは節約すべかりし費用

国または地域によっては、法律の強行規定により、上記の責任の制限が適用されない場合があります。



Printed in Japan